

富士重工業株式会社 スバル技術研究所 様

ソリューション概要

<プロフィール>

スバル技術研究所は、富士重工業の将来の発展に必要な基礎技術および先端技術の研究開発を目的として昭和64年に設立され、自動車、鉄道車両、航空機、環境関連システムなどの研究開発を行っています。

<会社概要>

名称：富士重工業株式会社 スバル技術研究所

本社：東京都三鷹市大沢 3-9-6

URL：http://www.fhico.jp

TEL：0422-33-7781

FAX：0422-33-7741

代表者：竹中 恭二

社員数：14,189人

(連結会社 合計 27,296人)

事業内容：研究開発 (下記分野)

自動車、産業車両等各種車両、航空宇宙関連機器、農業機械、環境整備機器、ロボット、通信計測機器



富士重工業株式会社 スバル技術研究所



価格が破格だったというのももちろんありますが興味があり使い始めてみると操作が簡単で、こちらが望んだ形状も問題なくできました。

Alibre Designは様々な用途に試用されているが、今回は富士重工業(株)スバル技術研究所 来動力開発グループの大堀様にお話を伺った。

「まずお仕事の内容について教えてください。」

車で使う電装品の開発です。僕の方ではそれらの電装品に使う要素部品の設計、試作をしています。筐体及びブラケットといったものですね。

「Alibre Design導入の経緯について、詳しく教えてください。」

はい。最近、大型のラビッドプロトタイプングマシンを導入しました。STRATASYS社のMaxumという機械です。これを使って試作モデルを作っていくのですが、当然3Dデータが必要になります。それでそれに合ったCADを探すことになりました。うちの会社が公式に採用しているハイエンドのシステムもあるのですが当然、価格が高すぎて手が届きません。それでミッドレンジクラスの製品もいくつかみてみたのですが、そんな時インターネットで探していたら、Alibre Designを見つけました。価格が破格だったというのももちろんありますが(笑)興味がありダウンロードして使い始めてみました。

「使い始めてからはいかがでしたか？」

通常のCADでは階層構造が複雑になっており、トレーニングを受けても、一人前に作業が出来るようになるには、数日間かかったりする場合が多いのですが、Alibre Designはとても分かり易いものでした。

実際に使い始めてみると、操作が簡単で、こちらが望んだ形状も問題なく作成できました。少し翻訳がおかしいところもありますが、チュートリアルやヘルプが日本語になっているのが非常に有り難かったですね。チュートリアルの動画を見て、一日で目的とするモデルを作成することが出来ましたので。



「造型機との連携はいかがでしょう？」

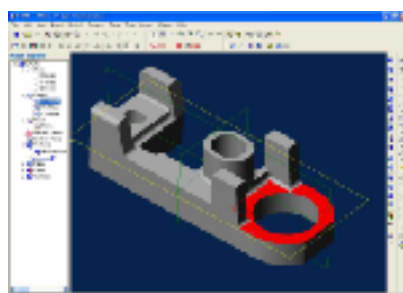
その部分もスムーズに行うことができました。造型機へは、モデルを作った後にSTL形式で転送しますが、研究所ということでデータの互換性などはあまり問題にはなりません。造型機に持っていければとりあえず仕事は完結となります。

「そちらのご用途に非常にマッチしたということですか？」

そうですね。僕はCAD室で画面に向かって操作しているオペレーターではないのもっと現場で使える手軽なソフトを探していました。普段はノートPCに入れて機械の前で作業したりしています。手軽に使える3Dスケッチツールという感じですね。マウスを使わずにトラックポイントだけでやりたいもできるようになりました。モデルを作って、造型機に渡すというフローがスムーズにできています。試作品ですので型を起こしてとか溶接したりとかそういった作業をしなくて済むのは時間的にもコスト的にも非常に有り難いですね。プラスチックの部品が多いので造型機で作ったものを車の方に固定してみたりしているいろいろやっています。まあこれは自己満足の部分も多いのですが(笑)

「ソリッドモデリング以外にも使われている機能はありますか？」

アセンブリまでこの中で行っています。それからデータを外注先に出す場合もあります。あちらに3Dソフトが無いときはAlibre Design内で図面化します。僕が使うに関しては十分な機能です。



「製品に対してなにかご要望はありますか？」

そうですね、作業平面を作ったときに端点を拾ったりすることがもっと簡単にできるようになるといいですね。それから、整列、結合などの用語が一部入れ替わっているところがあります。その辺を直してほしいですね。

「本日はお忙しいところありがとうございました。」